

# 年 報 ・ 紀 要

令和 5 年度

半田市立博物館



## 目 次

### 年 報

1. 施設概要 .....	2
2. 組織図 .....	3
3. 半田市博物館協議会	
(1) 協議会委員 .....	4
(2) 協議会日程 .....	4
4. 展示活動	
(1) 企画展示 .....	5
(2) その他の展示 .....	15
(3) 山車展示 .....	15
5. 教育普及活動	
(1) 博物館講座・講演会等 .....	16
(2) 視察及び見学 .....	17
(3) 半田市内小学校3年生の見学学習 .....	18
6. 資料の収集・整理・保存	
(1) 資料寄贈 .....	18
(2) 収蔵資料点数 .....	19
7. 半田市立博物館友の会活動.....	20
8. 文化財保護事業	
(1) 文化財専門委員会 .....	20
(2) 文化財の保護 .....	20
(3) 保存修理・保存施設整備補助事業 .....	23
(4) 旧中埜家住宅保存管理事業・整備事業 .....	24
9. 来館者数の推移 .....	25

## 1. 施設概要

【所在地】 半田市桐ヶ丘4-209-1

【開 館】 昭和 59 年 10 月 1 日

【敷地面積】 10,318.40 m<sup>2</sup>

【延床面積】 5,151.48 m<sup>2</sup>

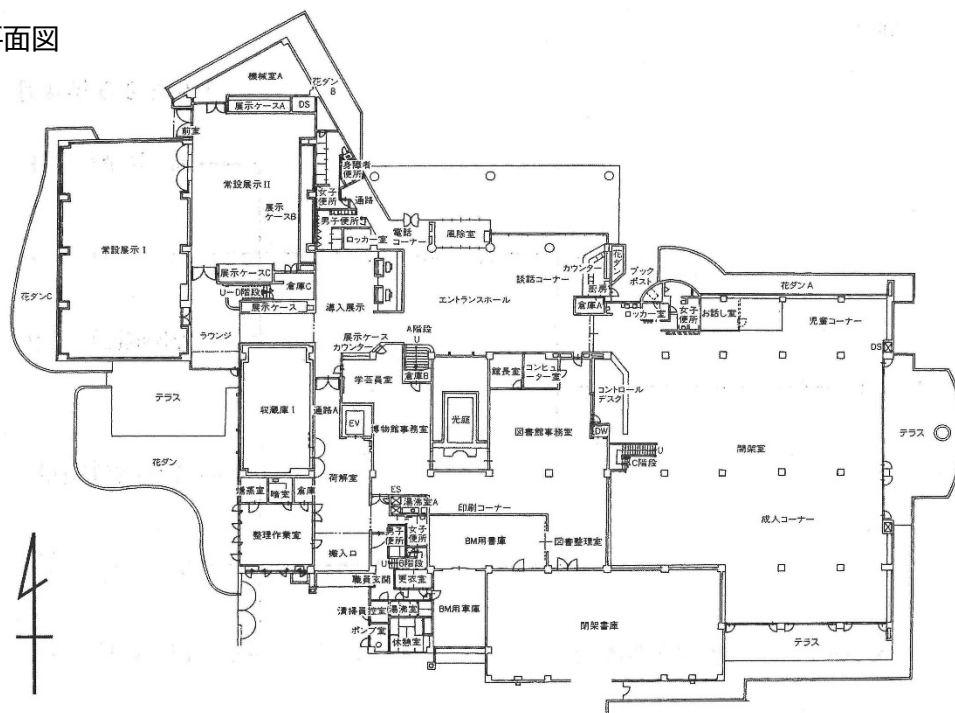
【構造】 鉄筋コンクリート造 2階建 塔屋1階

【館内施設】（図書館との共有部分を含む）

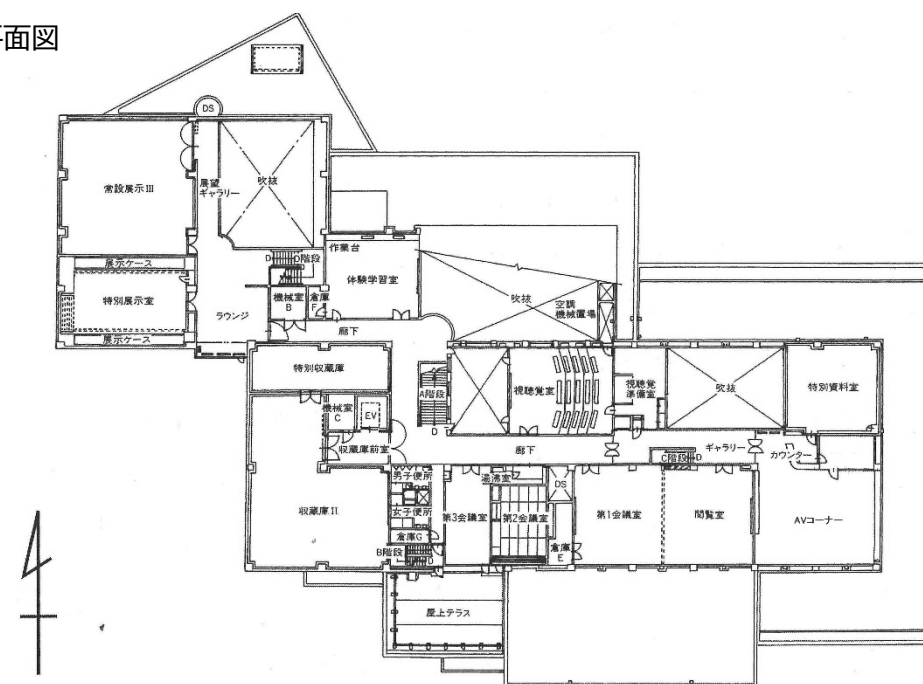
1階 常設展示室Ⅰ、常設展示室Ⅱ、収蔵庫Ⅰ、燻蒸室、整理作業室、事務室など

2階 常設展示室Ⅲ、特別展示室、体験学習室、特別収蔵庫、収蔵庫Ⅱ、視聴覚室など

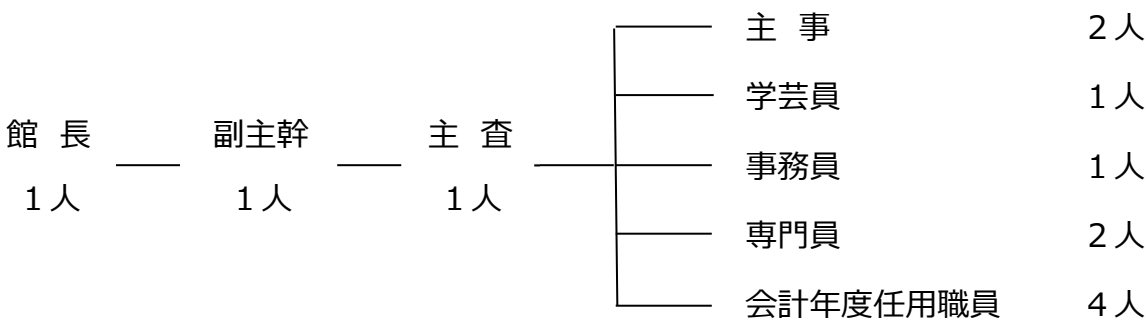
### 1 階平面図



2階平面図



2. 組織図（令和5年4月1日現在）



職種別内訳

職名 補職名	主 事	学芸員	事務員	専門員	会計年度 任用職員	合 計
課（館）長	1 人					1 人
副主幹	1 人					1 人
主 査		1 人				1 人
主 事	2 人					2 人
事務員			1 人			1 人
学芸員		1 人				1 人
専門員				2 人		2 人
会計年度 任用職員					一般事務 3 人 学芸員 1 人	4 人
合 計	4 人	2 人	1 人	2 人	4 人	13 人

### 3. 半田市博物館協議会

半田市博物館協議会は、博物館法第 20 条の規定により設置され、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

半田市立博物館条例第 11 条の規定に基づき、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験者の中から教育委員会が任命する。(定員 10 人、任期 2 年)

#### (1) 協議会委員 (令和 5 年 9 月 1 日)

氏 名	分 野	摘 要
井手 満枝	社会教育関係者	博物館友の会会長
佐野 景子	学識経験者	桐塑人形作家
柴垣 勇夫	学識経験者	元愛知淑徳大学教授
立松 彰	学識経験者	東海市立平洲記念館・郷土資料館前館長
藤堂 正喜	学校教育関係者	半田市小中学校社会科研究部長
新美 玲子	家庭教育の向上に資する活動を行う者	伝統文化お茶お花子ども教室主催
本美 信一	社会教育関係者	半田市文化協会理事
松見 直美	観光振興関係者	知多半島観光圏協議会事業推進事務所前所長

#### (2) 協議会日程

※令和 5 年度は開催なし

## 4. 展示活動

### (1) 企画展示

#### 「第38回知多工芸展」

期 間：令和5年4月22日（土）～6月4日（日）

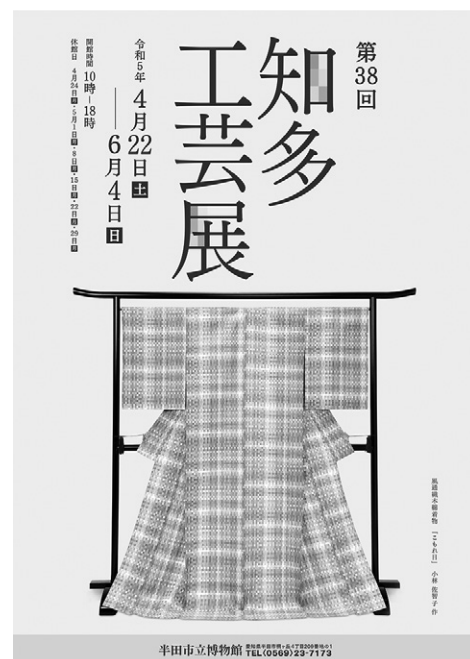
会 場：特別展示室（2階）、展示コーナー（1階）

入場者数：8,103人

展示内容：知多半島の工芸作家（陶芸・人形・染織）

23名の作品を展示した。

展示点数：26点



出品作品一覧

部 門	氏 名	作 品 名
陶 芸	伊藤 雄志	練込壺
	片岡 誠	自然釉壺
	加藤 真美	フロスト釉花入
	鯉江 廣	あけぼの彩角皿
	小西 洋平	真焼茶注三種
	柴田 正明	雲の階段
	清水 北條	朱泥藻掛茶鉢／白泥南蛮茶注
	杉江 幸治	自然釉化粧花器
	竹内 孝一郎	灰釉花器
	谷川 省三	鉄釉彩鉢
	谷川 仁	抜文様板集結器
	都築 青峰	土瓶 急須
	富本 敏裕	WAVE
	水上 勝夫	灰被り窯変 叩き皿
	水野 真澄	躍動
	村越 風月	茶注三趣
	山田 孝藏	黒灰釉茶盃／石ハゼ粉吹茶盃／草文粉吹茶盃
	四代 山田 常山	常滑急須
	山田 想	青急須
人 形	佐野 景子	犬宮
染 織	小林 佐智子	風通織木綿着物「こもれ日」
	杉浦 雅子	紬織着物『花信風』
染 色	二宮 祐子	華 2022



# 新美南吉生誕 110 年記念展 「童話に見る昔の道具」

期 間：令和5年6月24日(土)～9月3日(日)

会 場：特別展示室（2階）、展示コーナー（1階）

入場者数：19,835 人

展示内容：童話に出てくる道具を中心に展示し、用途や  
当時の暮らしの様子などを紹介した。

展示点数：33 点



展示資料一覧

		名称	大きさ
1	明かり	行燈	半田市立博物館蔵
2		提灯箱	半田市立博物館蔵
3		弓張提灯	半田市立博物館蔵
4		小田原提灯	半田市立博物館蔵
5		吊りランプ	新美南吉記念館蔵
6		手提げランプ	半田市立博物館蔵
7		台ランプ	新美南吉記念館蔵
8		火打ち	半田市立博物館蔵
9	暮らしの道具	飯櫃	半田市立博物館蔵
10		箱膳	半田市立博物館蔵
11		釜	半田市立博物館蔵
12		錠前	半田市立博物館蔵
13		米櫃	半田市立博物館蔵
14		枡	半田市立博物館蔵
15		ふご	半田市立博物館蔵
16		柱時計	半田市立博物館蔵
17		火鉢	半田市立博物館蔵
18		銭箱	半田市立博物館蔵
19		井戸滑車	半田市立博物館蔵
20		釣瓶	半田市立博物館蔵
21		コマ	半田市立博物館蔵
22		幻灯機	半田市立博物館蔵
23	仕事道具	ふいご	半田市立博物館蔵
24		せんべい焼	半田市立博物館蔵
25		ミシン	半田市立博物館蔵
26		空気ポンプ	新美南吉記念館蔵
27		胡弓	新美南吉記念館蔵
28		扇子	新美南吉記念館蔵
29		鼓	新美南吉記念館蔵
30		鋤	新美南吉記念館蔵
31		糸車	半田市立博物館蔵
32		魚籠	新美南吉記念館蔵
33		酒樽	半田市立博物館蔵

## 企画展「歴史と伝統 半田の山車祭り」

期 間：令和5年9月23日(土)～11月5日(日)

会 場：特別展示室（2階）、展示コーナー（1階）

入場者数：11,633人

展示内容：市指定文化財「乙川八幡社祭礼絵図」などの貴重な資料を展示したほか、博物館で収蔵している祭礼文書や法被、彫常の彫刻作品、博物館に寄託されている山車関係資料等を展示した。

展示点数：170点





## 展示資料一覧

### 1. 古文書資料(No.8～30は半田市立博物館蔵)

No.	名称	点数	備考(年代、所蔵、分類)
1	知多郡乙川村北組若者定序	1	宝暦11年(1761)／半田市立博物館蔵
2	打揃道順之儀	1	年代不明／乙川向山区蔵
3	向山若連中掟寫	1	明暦元年(1655)／乙川向山区蔵
4	神輿渡御引渡之図	1	宝暦5年(1755)／乙川向山区蔵
5	乙川八幡社祭礼絵図	1	宝暦5年(1755)／乙川八幡社蔵
6	山車永代記	1	大正6年(1917)／岩滑新田平井組蔵
7	平井組永代記	1	嘉永元年(1848)／岩滑新田平井組蔵
8	定 年々神諫道之事	1	嘉永4年(1851) 榊原伊三家文書
9	定 天王御祭礼郷三組若イ者取極	1	天保9年(1838) 乙川文書追加Ⅱ
10	神事二関スル事件并道具器械類等之義二付取極メ書	1	明治12年(1879) 乙川文書Ⅳ
11	荒古字議事録	1	明治26年(1893) 半田荒古文書
12	祭典二仕中老若者衆申協議ノ確定	1	明治31年(1898) 向山文書
13	請書写	1	明治40年(1907) 向山文書
14	南組議事録	1	大正8年(1919) 下半田南組文書
15	掌祭方連盟簿	1	慶應4年(1868) 乙川文書追加Ⅳ
16	村社祭典并神官給与徴収簿	1	明治23年(1890) 乙川文書追加Ⅳ
17	神事祭禮帳	1	明治15年(1882) 下半田南組文書
18	例祭費集金帳	1	明治42年(1909) 下半田南組文書
19	山車新調費徴収台帳	1	明治後期 下半田南組文書
20	平地新田ニテ亀崎村ノ者怪我人出来二付済口證文	1	天保8年(1837) 乙川文書追加Ⅳ
21	差出シ申請書之事	1	天保12年(1841) 岩滑文書
22	神社祭礼届	1	年代不明 乙川文書追加Ⅳ
23	願	1	明治30年(1897) 乙川文書追加Ⅳ
24	祭礼二付駆馬素人獅子舞奉納願	1	明治36年(1903) 乙川文書追加Ⅳ
25	祭礼山車通行二付御願	1	年代不明 乙川文書追加Ⅳ
26	村社上棟式并祭典記御堂雜費記	1	明治13年(1880) 乙川文書追加Ⅳ
27	村社祭典費協議費清算簿	1	明治28年(1895) 乙川文書追加Ⅳ
28	中小獅子本家別覚帳	1	明治33年(1900) 向山文書
29	山車新調設計書	1	明治40年(1907) 下半田南組文書
30	山車彫物仕用帳写	1	文政12年(1829) 彫常関係資料

### 2. 彫常彫刻作品(すべて半田市立博物館蔵)

No.	名称	点数	備考(作者)
1～5	栗、ピーマン、袋に鼠、俵鼠、鳩	1	二代彫常
6～7	観音像	1	初代彫常
8	観音像	1	二代彫常
9	蓮如意	1	初代彫常
10	兎	1	二代彫常
11～12	犬遊び、紅葉に鹿	1	彫常(詳細不明)
13	ひよこ	1	二代彫常
14～15	馬、牛	1	初代彫常
16～19	口バ、獅子、龍、力神	1	彫常(詳細不明)

### 3. その他(はんだ山車まつり関係、山車組所蔵資料、祭礼法被、写真パネルなど)

No.	名称	点数	備考(作者、年代、所蔵)
1	歴代はんだ山車まつり公式法被	9	個人蔵、半田市立博物館蔵
2	歴代はんだ山車まつり写真	8	半田市立博物館蔵
3	第1回はんだ山車まつりの様子	18	半田市立博物館蔵
4	山車・祭礼の写真パネル	20	明治後期～昭和初期／半田市立博物館蔵
5	壇箱彫刻(初代彫常)写真パネル	6	半田市立博物館蔵
6	壇箱彫刻(立川一門)写真パネル	4	半田市立博物館蔵
7	亀崎潮干祭の写真パネル	13	昭和23～34年／半田市立博物館蔵
8	持送り下絵「三ツ巴浮彫り」(成岩 北村成車)	1	初代彫常／半田市立博物館蔵
9	木鼻の獅子	6	彫清(野々垣清太郎)／半田市立博物館蔵
10	高欄周り彫刻(下半田 北組唐子車)	4	作者不明／下半田北組蔵
11	支輪「金地花柄蒔絵」(下半田 北組唐子車)	5	作者不明／下半田北組蔵
12	追幕下絵「龍上西王母図」(成岩 西馬場神車)	1	株式会社龍村美術織物／成岩西馬場蔵
13	水引幕下絵「群衛」(下半田 中組祝鳩車)	1	池上秀畝／下半田中組蔵
14	旧水引幕(下半田 中組祝鳩車)	1	下半田中組蔵
15	提灯(乙川 西山神楽車)	1	半田市立博物館蔵
16	前棚人形頭(下半田 南組護王車)	1	六代目 玉屋庄兵衛／下半田南組蔵
17	茶運び人形	1	七代目 玉屋庄兵衛／半田市立博物館蔵
18	市内31組の祭礼法被	31	半田市立博物館蔵

## 「第 38 回半田市立博物館 友の会合同展」

期 間：令和5年12月2日(土)～12月24日(日)

会 場：特別展示室（2階）、展示コーナー（1階）

入場者数：5,191 人

展示内容：博物館友の会各部員の会員による作品を展示した。

展示点数：110 点

第38回 半田市立博物館 友の会 合同展

令和5年 12/2(土)～24(日)

開館時間 10:00～18:00 (最終日は15時まで)  
休館日 12/4(日)・11(月)・18(日)

体験講座

染色部会 12月3日(日) 10:30～12:00 / 13:30～15:00  
※体験学習費 1,800円

拓本部会 12月9日(日) 13:30～15:00  
※拓本費 1,000円

機織り部会 12月9日(日)・10日(月) 10:30～12:00 / 13:30～15:00  
※機織り体験 1,000円

公開例会

古文書部会 12月10日(月)・17日(日) 13:30～15:30  
※古文書・複製品あり

陶芸部会 12月19日(日) 13:30～16:00  
※作品あり

歴史部会 12月20日(月) 13:30～15:00  
※歴史資料あり

半田市立博物館 TEL 0566-23-7173



展示資料一覧

部会名	主な作品	点 数
染色部会	ストール、タペストリー、トートバッグ、額、クッション、ショルダーバッグ、ランチョンマット、Tシャツ、袋、エコバッグ、小袋、リバーシブルベスト、チュニック、テーブルセンター など	37 点
はたおり部会	織り布、ポシェット、バッグ、ベスト、ストール、ガウチョパンツ、タペストリー、コート、敷物、ティッシュボックスカバー、ワイドパンツ、ショルダーバッグ、テーブルセンター、ボレロ、のれん、スカート、ブラウス、小物入れ、ズボン、スカーフ、帽子、ぬいぐるみ、がま口ポーチ、クッション、マルチカバー など	43 点
古文書部会	蜻蛉日記（宮内庁蔵）	1 点
古文書研究会	東照宮御遺訓集（鶴舞図書館蔵）	1 点
陶芸部会	ひな人形、茶香炉、クリスマスツリー、卓上水琴窟、四角花器（絵入り）、花器（絵入り）、鶴首花器、焼き締め花器、土瓶蒸し器、物窯釉輪花鉢、抹茶碗（ヌベ絵）、マグカップ（キー絵）、赤楽抹茶碗、白萩釉抹茶碗、花器 など	15 点
歴史部会	令和5年度現地研修および室内研修資料	1 点
拓本部会	鈴木花蓑句碑、仔羊、道元句、新美南吉、善光寺山頂、マンホール蓋、小林一茶句碑、道祖神、鶴と亀、芭蕉句、加古宗也句 など	12 点



## 館蔵品展「全国津々浦々！絵葉書展」

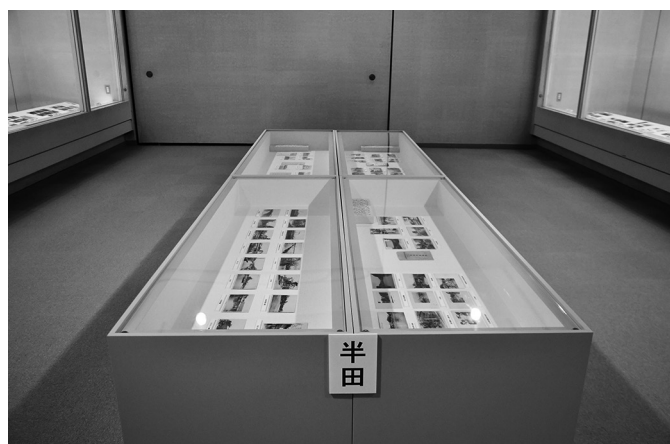
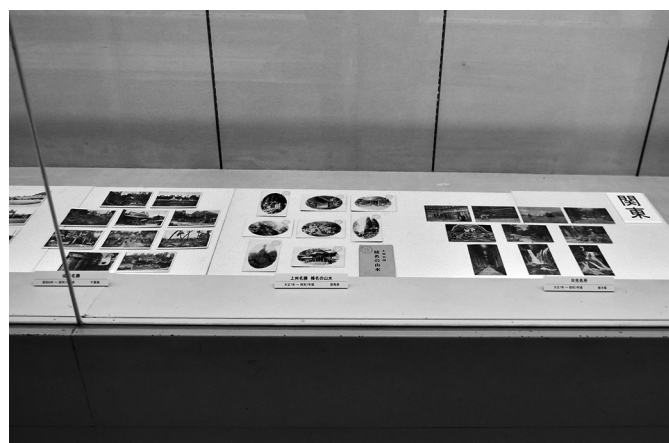
期 間：令和6年3月9日（土）～4月14日（日）

会 場：特別展示室（2階）、展示コーナー（1階）

入場者数：8,254人

展示内容：当館の収蔵資料の中から、日本各地の名所などが題材となった絵葉書を展示した。

展示点数：310点



## 展示資料一覽

番号	都道府県	名前		105			精進湖	212			
1				106			三ツ峠	213			
2	岩手県	盛岡	下ノ橋附近	107	山梨県	富士五湖めぐり	河口湖	214	香川県	高松栗林公園櫛はがき南庭	讃岐高松 栗林公園
3			御津橋	108			西湖と青木ヶ原樹海	215			讃岐高松 栗林公園
4			石割堤	109			白糸の滝	216			讃岐高松 栗林公園
5			小岩井農場	110			本栖湖	217			讃岐高松 栗林公園
6			雄鳥渡月橋の風光	111			(信州湯田中温泉)	218			高台上にうさぶく中岡徳太郎像
7			経ヶ島の風光	112	長野県	絵葉書 善光寺郊外	冬の湯田中(高志山麓スキー場遠望)	219			峠中での絶景 足沙汰岩附近
8			カプト島の奇景	113			湯田中湖の宿	220	高知県	観光 室戸岬	海天空濤の壮観、海辺の一部
9			千貫島の勝景	114			湯田中より北信濃の五岳を望む	221			岬での一名勝、目洗池の風情
10			二王島の奇景	115			坂道伯御像	222			珍しいタコノ木は見ものである
11	宮城県	日本之景の一松島十六景	松島名勝 五大堂	116	岐阜県	山水郷 岐阜の印象	長良川清流と長良富士	223			屹然と岬角に立つ燈台
12			渡月橋より松島海岸	117			長良川の鶴岡	224			太平洋一望千里の月見の浜
13			在城島の勝景	118			伊奈波神社	225			第二十四番霊場(東寺)最勝崎寺本堂
14			龍島の朝日	119			岐阜公園女神の噴水塔		九州		
15			扇谷の夕陽	120			太郎坊 登山途中之實況	226			港内船溜
16			材木島全景	121			御殿場口七合目	227			和布刈神社
17			不老山の絶景	122			御殿場口八合目及九合目	228			棧橋通り
18			双子島の佳景	123	静岡県	御殿場 太郎坊	御殿場口砂走	229			門司市街全景
19	山形県	山形	千歳公園雪中ノ辨天池	124			御殿場口胸突	230	福岡県	門司名所	馬場遊廓
20			千歳公園雪景ト月見堂	125			御殿場口三合目四合目	231			税関
21			旅館町社の雪景	126			御殿場口五合目	230			停車場
			千歳公園より九十九橋及釜山を望む	127			御殿場口六合目及賈水山	232			甲宗八幡神社
				128			子安弘法大師の像	233			清瀬公園
22	関東		東照宮拝殿内部	129	愛知県	蒲郡 三谷温泉	蒲郡弘法山観日ロープウェイと温泉街の展望	234			国立公園・大阿蘇山
23			東照宮塔門	130			新箱根ドライブコースと展望台	235	熊本県	国立公園 大阿蘇山の壮観	国立公園・大阿蘇山 米塚と外輪山
24			中禅寺湖上野島	131			三谷浜より竹島を望む	236			国立公園・大雲仙
25			二荒山神社	132			蒲郡三谷祭り	237			宇佐神宮 表参道樹形
26			蛭猫及不夜申猿	133			蒲郡三谷温泉の全景	238			宇佐神宮 手水舎
27	栃木県	日光名所	二ツ堂	134			蒲郡三谷温泉の夜景	239			宇佐神宮 上宮勅使門
28			奥ノ院寶塔					240			宇佐神宮 上宮中殿及び南廻廊
29			日光名所杉並木		近畿			241	大分県	宇佐神宮園繪 第二種	宇佐神宮 上宮
30			裏見池	135			伊勢二見ヶ浦興玉神社	242			宇佐神宮 表参道
31			露瀨ノ瀧	136			伊勢二見浦夕合橋	243			宇佐神宮 菱形池
32			標名信玄矢立杉	137	三重県	二見ヶ浦 伊勢名所	伊勢二見日の出	244			熊川神社
33			標名御神橋	138			伊勢二見ヶ浦海岸ノ夕日	245			旧島津邸
34			標名應神門	139			伊勢二見ヶ浦海岸ノ光景 其一	246			西郷銅像
35	群馬県	上州名勝 標名の山水	標名くらげ岩	140			伊勢二見ヶ浦海岸ノ光景 其二	247			桜島全景 其ノ一 其ノ二
36			標名町全景	141			近江神宮	248	鹿児島県	鹿児島	西郷洞窟
37			標名總龍門及鈴岩	142			唐崎の松	249			
38			標名九折岩	143			瀬田の唐橋	250			
39			標名神社	144	滋賀県	近江八景	粟津の青嵐	251			
40			成田山公園ノ浮見堂	145			三井寺	252			
41			成田山公園内ノ大噴水	146			石山寺		半田市		
42			成田山三十六童子	147			堅田浮御堂	253			亀崎風景 海上より見たる亀崎全景の美観
43	千葉県	成田名勝	成田山御本堂	148			京都嵐山の櫻	254			明治天皇駐蹕跡
44			成田山仁王門	149			京都嵐山千鳥ヶ淵	255			英比川
45			成田山出世稲荷	150			京都嵐山遊船	256			新道通り
46			成田山公園入口	151			京都嵐山勝景	257			新四國第十九番札所
47			成田山公園ノ一歩	152			京都嵐山渡月橋畔	258			半田港
48			成田山奥之院	153			京都嵐山大悲閣	259			彦兵衛橋
49			成田山新勝寺	154			清水寺全景	260			日本要酒醸造株式会社
50			馬場先門通り	155	京都府	雪 (京都名勝)	金閣寺	261			入水神社
51			上野公園西郷銅像	156			三條大橋	262			愛知県半田中学校奉安庫
52			豊後廟	157			唐大門遠望	263			天龍山常樂寺
53			帝國劇場	158			御山新公園	264			篠島山安養寺
54			東京驛	159			御所	265			成岩学校
55			海上保険ビルデング	160			嵐山渡月橋畔	266			羽塚山無量壽寺
56			日本橋	161			京都 清水寺新高橋	267			神戸鶴
57			須田町の賑	162			京都 清水寺新高橋	268			鶴社 成石神社
58			日比谷公園音楽堂	163			天王寺公園 工業館及音楽堂	269			尾張亀崎神社御神苑内観月亭
59	東京都	東京名所	赤坂離宮	164			中之島公園全景	270			尾張亀崎全景欄々より致ヶ浦淵を望む
60			浅草觀世音本堂	165	大阪府	大阪名勝	安治川口	271			望洲樓全景
61			岡國園技館	166			大阪大涌宮	272			最も繁華なる中町通りの夜市
62			日本銀行	167			天満宮境内神苑地 / 天満宮境内大將軍社	273			亀崎町夜境
63			櫻田門	168			攝津有馬全景	274			明治大帝御駐蹕の御趾(乙川白山)
64			浅草公園十二階	169			攝津有馬温泉	275			半島第一の大池七木本池
65			銀座通り	170			攝津有馬町(入口)	276			狂歌なる縣社 神前神社の社頭
66			松屋呉服店	171	兵庫県	有馬名所	攝津有馬停車場及附近	277			狂歌なる縣社 神前神社の社頭
67			蠟燭町水天宫	172			攝津有馬瑞寶寺日暮の庭	278			半島屈指の大魚市場の盛観
68			明治神宮御本殿	173			攝津有馬本温泉	279			
69			海友社	174			攝津有馬ホテル	280			
70			水文支社	175			攝津有馬夫婦瀧	281			
71			停車場	176			標原神宮御本殿	282			
72			平坂上ヨリ見タル大濠町方面	177			標原神宮外拜殿	283			
73			海軍砲術学校	178			標原神宮表神橋と大鳥居	284			
74	神奈川県		海軍水雷学校	179	奈良県	標原神宮絵葉書	神武天皇敬仿山東北陵	285			
75			鎌倉宮(土牢)	180			標原神宮南神門	286			
76			頼朝公ノ墓	181			紀三井寺 遷	287			
77			建長寺佛殿	182			紀三井寺 石段	288			
78			長谷ノ觀音	183			紀三井寺 開山堂	289			
79			鶴岡八幡宮	184			紀三井寺 鐘樓	290			
80			円覺寺舍利殿	185	和歌山県	紀三井寺名所 鐘はがき	紀三井寺 櫻花	291			
				186			紀三井寺 山門	292			
				187			紀三井寺 本堂	293			
				188				294			
81	中部		妙高山麓白樺林	189	中国・四国		嚴島神社大廻廊	295			
82			妙高裾野を一掃り	190			千歳閣と五重塔	296			
83	新潟県	妙高山麓 スキーの快	妙高山麓赤倉温泉スキー場	191			展望台附近	297			
84			赤倉温泉途中の妙高	192	広島県	宮嶋の風光	嚴島神社全景	298			
85			一眺千里妙高山麓大スロープ	193			紅葉谷	299			
86			赤倉温泉途中の妙高	194			大鳥居	300			
87			赤倉温泉の雪の朝	195			嚴島海岸風景	301			
88			黒谷橋	196			嚴島神社本殿	302			
89			道分ヶ淵	197			出雲大社・拜殿	303			
90			古城公園	198			出雲大社・神楽殿	304			
91			尾ヶ淵	199			出雲大社・銅鳥居	305			
92	石川県	山中温泉	山中温泉全景	200	島根県	出雲大社	出雲大社・大鳥居	306			
93			菊の渾一名総湯	201			出雲大社・御本殿	307			
94			園分山醫王寺	202			出雲大社・稲佐浜	308			
95			白鷺の渚	203			出雲大社・八丁門	309			
96			黒谷の奇勝	204				310			
97			下流ヨリ見タル姥蜂橋	205							
98			上流ヨリ見タル姥蜂橋	206							
99				207							
100				208							
101	福井県	越前電鐵 小舟渡遊園地の景	越前小舟渡遊園内河鹿橋附近之景	209	山口県	天下之名橋 岩國 錦帯橋之真景	岩國 錦帯橋之真景				
102			越前小舟渡遊園内觀音堂登口	210							
103			越前小舟渡遊園御光之瀧	211							
104			越前小舟渡遊園内能樂堂ト浴場								
			越前小舟渡遊園登口ト電車								
			越前小舟渡遊園之全景								



## (2) その他の展示

タイトル	期 間	観覧者数	備 考
原爆と人間展	7月14日(金)～ 8月30日(水)	13,971人	主催：半田市(担当：総務課) 会場：1階 通路壁面
愛知やきものヒストリー 2023	7月15日(土)～ 9月10日(日)	16,285人	会場：1階 受付前
かぼちゃのおもさ当てクイズ	9月28日(木)～ 10月31日(土)	8,735人	会場：1階 受付前
知多中部広域少年消防クラブ 防火作品展	11月9日(木)～ 11月23日(木)	3,578人	主催：知多中部広域事務組合 消防本部 会場：2階 特別展示室前
半田市・徐州市児童書画作品展	11月11日(土)～ 11月26日(日)	3,850人	主催：半田市(担当：秘書課) 会場：2階 特別展示室
第52回 半田さわやか教育展	1月13日(土)～ 1月21日(日)	3,733人	主催：半田市教育委員会 会場：1階 展示コーナー 2階 特別展示室
半田市小中学校書写展	1月24日(水)～ 2月1日(木)	2,830人	主催：半田市教育委員会 会場：1階 展示コーナー 2階 特別展示室
第39回 半田市中学校美術部展	2月3日(土)～ 2月8日(木)	1,283人	主催：半田市教育委員会 会場：1階 展示コーナー 2階 特別展示室
第39回 半田市造形教育展	2月10日(土)～ 2月21日(水)	4,799人	主催：半田市教育委員会 会場：1階 展示コーナー 2階 特別展示室
ミニ展示「ひなまつり展」	2月3日(土)～ 3月10日(日)	11,134人	会場：1階 受付前

## (3) 山車展示

区 分	搬 入	組 上	搬 出
乙川浅井山宮本車	令和5年3月20日(月)	令和5年4月2日(日)	令和5年6月25日(日)
萩大山車 (阿久比町)	令和5年6月25日(日)	令和5年7月2日(日)	令和5年11月5日(日)
板山日役組神力車	令和5年11月5日(日)	令和5年11月12日(日)	令和6年3月17日(日)

## 5. 教育普及活動

### (1) 博物館講座・講演会等

タイトル	日 程	講 師	人 数
知多工芸展講座 「風通織（風通絣織）の魅力」	5月7日（土）	小林 佐智子 （外部講師）	48 人
からくり上演	6月18日（日）	乙川浅井山	120 人
企画展関連イベント 「昔の道具を使ってみよう！」	7月29日（日）	博物館学芸員	30 人
夜の図書館・博物館で怖～い話を聞く会	8月4日（金）	図書館・博物館 共催	39 人
博物館講座 「化石を発掘しよう！～木の葉化石編～」	8月6日（日）	博物館学芸員	31 人
博物館講座 「天然石できれいな万華鏡を作ろう！」	8月13日（日）	博物館学芸員	33 人
博物館講座「和本を作ろう！」	9月30日（土）	博物館学芸員	12 人
文化財よもやま話(全6回)	10/7(土)・8(日)、 10/14(土)	文化財専門委員	156 人
博物館講座「クリスマスリースづくり」	12月3日（日）	寺西 愛弓 （外部講師）	8 人
博物館講座「てんこく」	12月9日（土）	吉原 愛璃 （外部講師）	10 人
やさしい古文書講座	12月16日（土）	博物館専門員	48 人
博物館講座「華のしめ飾りづくり」	12月23日（土）	近藤 水名子 （外部講師）	11 人
古文書講座「江戸時代の庄屋の仕事」	令和6年 1月21日（土）	博物館専門員	35 人
博物館講座「はじめての苔テラリウム」	令和6年 2月11日（日祝）	博物館学芸員	26 人
からくり人形および囃子の披露	令和6年 2月25日（日）	板山日役組	15 人

## (2) 視察及び見学

月 日	時 間	団体名等	人 数	場 所	解 説
5月14日(日)	10:00~10:40	五友会	11人	博物館	○
5月17日(水)	10:00~11:15	半田市立葵保育園	35人	博物館	
7月8日(土)	10:30~11:00	半田市企画部秘書課	5人	博物館	○
7月22日(土)	10:15~12:15	観光ガイド養成講座	10人	博物館	○
7月26日(水)	10:00~11:00	小牧市立一色小学校	3人	博物館	
8月18日(金)	11:30~12:00 14:45~15:15	半田を知る会 (市内小中学校初任者研修)	14人 17人	博物館	○
8月19日(土)	10:00~10:40	第9回はんた山車まつり実行委員会公式インフルエンサー	10人	博物館	○
10月5日(木)	10:00~11:00	小牧市立一色小学校	87人	博物館	
11月5日(日)	10:00~11:20	熱田年金者組合	40人	博物館	○
11月12日(日)	10:20~11:20	江東地区自治会連合会	15人	博物館	
12月13日(水)	9:45~10:10	東海旅客鉄道株式会社 事業推進本部	10人	旧中埜家住宅	○
12月14日(木)	10:15~11:00	常滑市立三和小学校 特別支援学級	9人	博物館	
令和6年 1月20日(土)	10:30~11:10	鵜川原地区区長会	10人	博物館	○

### (3) 半田市内小学校3年生の見学学習

小学校3年生を対象として、半田市の様子を紹介した番組の上映、展示室見学と昔の生活道具の学習を行っている。令和5年度は下記のとおり実施した。

年 月 日	学 校 名	学 年	クラス数	人 数
令和5年10月12日	雁宿小学校	3年生	3	78人
10月13日	半田小学校	3年生	2	58人
10月17日	宮池小学校	3年生	4	125人
10月18日	岩滑小学校	3年生	3	81人
10月19日	さくら小学校	3年生	1	36人
10月24日	成岩小学校	3年生	3	79人
10月25日	花園小学校	3年生	3	93人
11月21日	乙川東小学校	3年生	3	88人
11月22日	有脇小学校	3年生	1	18人
11月28日	板山小学校・分校	3年生	2	54人
11月29日	亀崎小学校	3年生	3	77人
11月30日	乙川小学校	3年生	3	99人
12月5日	横川小学校	3年生	3	87人
合 計	13校		34クラス	973人

## 6. 資料の収集・整理・保存

### (1) 資料寄贈

#### ア 美術品

受入日	種類	作品名	作 者	点 数
令和5年9月3日	工芸品	茶運び人形	七代 玉屋庄兵衛	1点
	工芸品	面かぶり	不明	1点
令和5年12月23日	絵画	絵画「かご（かご盛・夏）」	武藤 琴	1点

# イ 一般資料

受入日	資料名	点 数
令和5年4月14日	半田市立図書館館内案内図ほか	17点
4月15日	半田第一尋常高等小学校 大正七年三月卒業 記念写真帳	1点
4月18日	岩橋家系譜一覧表ほか	5点
5月16日	アルバム	7点
6月18日	酒ラベル	56点
6月20日	蛇籠	1点
10月21日	絵葉書	55点
10月21日	漆器	4点
10月25日	小栗富次郎写真	4点
11月19日	写真（小栗商店名古屋支店、第2支店）	2点
12月10日	台秤、竿秤	2点
12月19日	絵葉書「半田八景」	1点
12月24日	拓本（鈴木花蓑句碑）	1点
12月24日	拓本（馬頭観音）	1点
令和6年2月7日	時計	1点
2月28日	絵葉書	一式
3月8日	歴史寫真帖	1点

## （2）収蔵資料点数（令和6年3月31日時点）

区 分	数 量	区 分	数 量
生 活	6,866点	自 然	175点
産 業	4,935点	古文書	4,790点
民 俗	1,412点	美術品	1,538点
考 古	207点	歴 史	1,685点
合 計		21,605点	

## 7. 半田市立博物館友の会活動

半田市郷土資料館友の会（昭和 53 年設立）を前身として、昭和 59 年に設立された。半田市立博物館の活動に協力し、あわせて郷土の文化遺産を守り歴史・民俗・自然に関する知識を深め、会員相互の親睦をはかることを目的としている。その後、任意団体として独立しつつも、博物館事業への積極的な協力を目的の一つに掲げ、現在は、古文書、拓本、陶芸、はたおり、歴史、染色の 6 部会が活動している。

令和 5 年度実績（令和 5 年 8 月 1 日時点）

部会名	会員数	部会名	会員数	部会名	会員数
古文書部会	15 人	陶芸部会	5 人	歴史部会	21 人
拓本部会	7 人	はたおり部会	28 人	染色部会	24 人

## 8. 文化財保護事業

### （1）文化財専門委員会

#### ①設置目的

市内における文化財の調査及び保護活用に関して研究し、教育委員会の諮問に応じて意見を具申し、又は建議する。

#### ②委員の構成（10 名）

学識経験者の中から教育委員会が委嘱する。委員の任期は 3 年。毎年、委員長 1 名、副委員長 1 名を選出し、委員長は委員会を代表し会議の議長となる。

### （2）文化財の保護

#### ①指定文化財の数（令和 6 年 3 月 31 日現在）

種 類			国指定	県指定	市指定	計
有形文化財	建造物		2	0	6	8
	美術工芸品	絵 画	3	0	3	6
		彫 刻	1	0	10	11
		工芸品	3	0	4	7
		書跡・典籍・古文書	2	0	9	11
民俗文化財	有 形		1	1	6	8
	無 形		1	2	6	9
記念物	史 跡		0	1	2	3
	天然記念物	植 物	0	1	3	4
計			13	5	49	67

## ②指定文化財一覧

	種 別	名 称	員 数	指定年月日	所在地	所有者又は管理者
国指定	建造物	旧中荏家住宅	1 棟	昭和 51. 2. 3	天王町 1-30-2	半田市
	彫刻	木造阿弥陀如来立像	1 躯	昭和 6. 12. 14	東郷町 2-41	常楽寺
	有形民俗	半田の酢醸造用具	323 点	平成 28. 3. 2	桐ヶ丘 4-209-1	半田市
	無形民俗	亀崎潮干祭の山車行事	—	平成 18. 3. 15	亀崎町 2-92-1	亀崎潮干祭保存会
	建造物	小栗家住宅	12 棟	令和 4. 9. 20	中村町 1-18	個人
県指定	有形民俗	亀崎潮干祭の山車	5 輛	昭和 41. 1. 17	亀崎町 2-92-1	亀崎潮干祭保存会
	無形民俗	大獅子小獅子の舞	—	昭和 42. 10. 30	成岩本町 4-5	成岩第四区獅子保存会
	無形民俗	板山獅子舞	—	平成 9. 10. 17	神代町 1-61	板山獅子保存会
	史跡	大高山古窯	297 m <sup>2</sup>	昭和 33. 6. 21	上池町 2-31	半田市
	天然記念物	摂取院のイブキ	1 樹	昭和 56. 2. 23	前崎東町 44	摂取院
市指定	建造物	乙川八幡社本殿	1 棟	昭和 58. 4. 1	乙川殿町 97	八幡社
	建造物	秋葉社本殿	1 棟	昭和 58. 4. 1	亀崎町 4-80	秋葉社
	建造物	旧新美家住宅(新美南吉養家)	1 軒	昭和 62. 10. 30	平和町 7-60	公益財団法人かみや美術館
	建造物	雲観寺鐘楼	1 棟	平成 23. 11. 1	中村町 1-41	雲観寺
	建造物	一切経蔵、八角輪蔵	1 棟	平成 23. 11. 1	中村町 1-41	雲観寺
	建造物	半田ハリストス正教会「聖イオアン・ダマスキン聖堂」	1 棟	令和元. 6. 21	乙川西ノ宮町 3-33	半田ハリストス正教会
	絵画	血誓の阿弥陀如来絵像	2 幅	昭和 41. 3. 31	亀崎町 3-51	浄願寺
	絵画	絹本着色方便法身尊像	1 幅	平成 23. 11. 1	中村町 1-41	雲観寺
	絵画	半田ハリストス正教会の聖障(イコノスタス)	27 枚	令和元. 6. 21	乙川西ノ宮町 3-33	半田ハリストス正教会
	彫刻	薬師如来座像	1 躯	昭和 41. 3. 31	東郷町 2-86	西薬師教会
	彫刻	十一面観世音菩薩立像	1 躯	昭和 41. 3. 31	有楽町 2-34	鳳出観音教会
	彫刻	多聞天立像	1 躯	昭和 48. 4. 12	有楽町 2-34	鳳出観音教会
	彫刻	地藏菩薩立像	1 躯	昭和 48. 4. 12	有楽町 2-34	鳳出観音教会
	彫刻	聖観世音菩薩立像	1 躯	昭和 48. 4. 12	東郷町 2-86	西薬師教会
	彫刻	大日如来座像	1 躯	昭和 48. 4. 12	東郷町 2-86	西薬師教会
	彫刻	聖観世音菩薩立像	1 躯	昭和 58. 7. 1	東本町 2-16	光照院
	彫刻	阿弥陀如来立像	1 躯	昭和 60. 8. 1	堀崎町 1-58	順正寺
	彫刻	木造薬師如来座像	1 躯	昭和 61. 2. 1	成岩本町 2-5	北薬師教会
	彫刻	木造聖徳太子立像(南無仏二歳像)	1 躯	平成 23. 11. 1	中村町 1-41	雲観寺
	工芸	陶製水瓶	1 個	昭和 41. 3. 31	—	個人

市指定	工芸	三筋壺	2 個	昭和 44. 5. 22	桐ヶ丘 4-209-1	半田市
	工芸	巴文大甕	1 個	昭和 54. 4. 1	—	個人
	工芸	懸盤	1 脚	平成 23. 11. 1	中村町 1-41	雲観寺
	古文書	乙川文書	935 点	昭和 53. 4. 1	桐ヶ丘 4-209-1	半田市
	古文書	西成岩文書	516 点	昭和 53. 4. 1	桐ヶ丘 4-209-1	半田市
	古文書	乙川八幡社祭礼絵図	1 巻	昭和 58. 4. 1	乙川殿町 97	八幡社
	古文書	絵像阿弥陀如来(大品)裏書	1 巻	昭和 60. 8. 1	堀崎町 1-58	順正寺
	典籍	乙川八幡社 社地絵図面	1 巻	昭和 58. 4. 1	乙川殿町 97	八幡社
	典籍	黄檗鉄眼版一切経	276 帙 2104 冊	平成 23. 11. 1	中村町 1-41	雲観寺
	書跡	六字名号	1 幅	平成 23. 11. 1	中村町 1-41	雲観寺
	書跡	九字名号	1 幅	平成 23. 11. 1	中村町 1-41	雲観寺
	書跡	御文	1 巻	平成 23. 11. 1	中村町 1-41	雲観寺
	有形民俗	向山神楽獅子の館	1 台	昭和 45. 11. 10	向山町 2-30	向山神楽獅子保存会
	有形民俗	半田山車まつり 市内 9 地区の山車	26 輛	昭和 54. 5. 4	市内 26 ヶ所山車蔵	半田山車祭り保存会
	有形民俗	乙川八幡社絵馬群	9 面	昭和 58. 4. 1	乙川殿町 97	八幡社
	有形民俗	中村組神輿	1 基	平成 15. 4. 1	東本町 2-23	業葉神社
	有形民俗	平地神明社の算額	1 面	平成 28. 7. 8	平地町 1-72	平地神明社奉賛会
	有形民俗	業葉神社の古面	1 面	平成 30. 3. 16	桐ヶ丘 4-209-1	業葉神社
	無形民俗	向山神楽獅子の神事	—	昭和 44. 3. 14	向山町 2-30	向山神楽獅子保存会
	無形民俗	ちんころ祭の三番叟	—	昭和 54. 7. 28	宮路町 53	住吉ちんころ祭委員会
	無形民俗	銭太鼓踊り	—	平成 13. 6. 1	成岩本町 4-5	成岩銭太鼓保存会
	無形民俗	板山万歳	—	平成 21. 5. 1	板山町 15-168	愛知・半田・板山 万歳保存会
	無形民俗	下半田祭礼行事	—	平成 31 年 3. 8	東本町 2-23	下半田祭礼保存会
	無形民俗	乙川祭礼行事	—	平成 31 年 3. 8	乙川殿町 97	乙川祭礼保存会
	史跡	亀崎渡船場跡	—	昭和 54. 4. 1	亀崎町 2-234-1	神前神社
	史跡	大池古窯	3 基	平成 8. 8. 1	鶴ノ池町 33-1	半田市
	天然記念物	津島社のムクノキ	1 樹	昭和 52. 10. 1	住吉町 8-50	津島社天王講
	天然記念物	常福院のソテツ	1 株	昭和 53. 4. 1	岩滑中町 7-23	常福院
	天然記念物	萬三の白モッコウバラ	1 樹	平成 23. 12. 1	中村町 1-18	個人

※所有者に同意を得た文化財のみ記載しています。



### ③国登録有形文化財

種 別	名 称	員 数	登録年月日	所在地	所有者・管理者
建造物	半田赤レンガ建物（旧カプトビール工場）	3 棟	平成 16. 7. 23	榎下町 8	半田市
建造物	愛知県立半田商業高等学校正門門柱 （旧愛知県知多郡立高等女学校正門）	1 基	平成 29. 6. 28	白山町 2-30	愛知県
建造物	旧愛知県半田中学校武道場 （七中記念館）	1 棟	令和 4. 6. 29	出口町 1-30	愛知県
建造物	旧伊東合資会社	3 棟	令和 4. 10. 31	亀崎町 9-111 他	法人

### （３）保存修理・保存施設整備補助事業

令和５年度は、次のとおり文化財所有者が行う保存修理等を支援し、文化財の保存継承を行った。

名 称	種 別	補助事業者	内 容
半田山車まつり 市内９地区の 山車 26 輛	有形民俗	協和砂子組白山車	防犯カメラ設置
		成岩東組旭車	山車蔵兼鞘修理
亀崎潮干祭の 山車行事	重要無形民俗 （国指定）	亀崎石橋組青龍車	山車蔵兼鞘修理

なお、令和５年度は、国の補助「地域文化財総合活用推進事業（地域活性化のための伝統行事等振興事業）」を活用できたため、次の文化財についても保存修理を行うことができた。

名 称	種 別	所有者・管理者	内 容
半田山車まつり 市内９地区 の山車 26 輛	有形民俗	成岩東組旭車	ゴマ新調
		乙川浅井山宮本車	三番叟人形・引幕修理
		下半田南組護王車	用具等修理（装束、破風板、妻台輪木口金具、堂山床板下面漆箔、彫刻）
		成岩西馬場神車	搦棒・綱の修理、ゴマ新調、法被（赤・黒）復元新調
向山神楽獅子の館	有形民俗	向山区神楽獅子保存会	油単復元新調

(4) 旧中埜家住宅保存管理事業・整備事業

令和5年度の主な公開等活用・整備事業は次のとおり。

イベント名・内容等	日程等	場所等
旧中埜家住宅で春の写真を撮ろう	令和5年3月23日(木) ～5月7日(日)	旧中埜家住宅、 博物館
新美南吉の童話作品イラストによる 外観装飾	令和5年3月23日(木) ～5月7日(日)	旧中埜家住宅
「子ども用ワークシート」配布	令和5年4月～	旧中埜家住宅、博物 館、市ホームページ
旧中埜家住宅で組紐を体験しよう	令和5年5月12日(金)、 13日(土)	旧中埜家住宅
初夏の旧中埜家住宅一般公開 －半六さんの別荘で音楽を楽しもう－	令和5年5月20日(土)、 21日(日)、28日(日)	旧中埜家住宅
旧中埜家住宅ポストカードプレゼント	令和5年7月7日(金) ～30日(日)	博物館
旧中埜家住宅&半田市立博物館 あいたかったよ！だしまつり	令和5年9月30日(土) ～10月31日(火)	旧中埜家住宅、 博物館
旧中埜家住宅でミニ置き畳をつくろう	令和5年10月22日(日)	旧中埜家住宅
第7回重要文化財旧中埜家住宅特別公開 －折り紙建築と水彩画で見る 歴史ある あいちのたてもの－	令和5年11月18日(土)、 19日(日)	旧中埜家住宅
自由見学日	令和5年11月24日(金)、 25日(土)	旧中埜家住宅
棟札複製製作	令和6年1月製作完了	—
一緒に♪楽しく♪旧中埜家住宅体験型写真館 －旧中埜家住宅をみんなの思い出の場所に育 てよう－	令和6年1月13日(土)、 14日(日)	旧中埜家住宅
客室洋風家具整備 (文化財保存継承基金活用)	令和6年3月整備完了	—
旧中埜家住宅・桐華学園 フレンチナッツステッチでティーマット づくり	令和6年3月9日(土)	旧中埜家住宅
まちなかでアート 旧中埜家住宅でアートツ アー(生涯学習課主催)	令和6年3月23日(土)	旧中埜家住宅

## 9. 来館者数の推移

年 度	来館者数（人）
平成 25 年度	97,766
平成 26 年度	96,647
平成 27 年度	87,520
平成 28 年度	90,400
平成 29 年度	104,913
平成 30 年度	95,961
平成 31・令和元年度（※）	89,128
令和 2 年度（※）	53,352
令和 3 年度	80,402
令和 4 年度	87,966
令和 5 年度	88,865

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 2 年 3 月 4 日～5 月 31 日まで臨時休館。



安政6年のほぼ1年間の資料であるが、年間66件の訪問がある。月平均5〜6回の頻度である。

鳴海方（鳴海陣屋役人）31回、御林方（御林奉行所）15回、御鷹方（御鷹奉行所）3回、寺社方（寺社奉行所）5回、御普請方（御普請奉行所）3回、地方御勘定所1回、柳原御役所1回、地方吟味役1回、役所不明6回の内容である。

藩から村の庄屋への指示は文書で出され、その返答は、文書もしくは、代官所や名古屋の奉行所に出向いて口頭で報告される。各御役人は、村に指示するために訪問するのではなく、各担当業務の執行が目的であったと思われる。

ちなみに、下用の内訳にも、庄屋組頭は年に名古屋表に125回、鳴海表に153回、横須賀表に22回呼び出され、あるいは願い達しのため出張している。

様々な役所の御役人が村に宿泊を求め、昼食を求め、荷物や文書の継立（搬送）を求めてくるのであった。

村は、宿泊は一日一人銀2匁、昼食一人一銀2匁と定めて出費していた様子がわかる。継立は、荷物の量、行先の遠近、人足の数により、計算していたと思われる。

諸役人は、基本的には、継立賃は負担しないと決めていたと思われる、宿泊（休泊）昼食代は心付程度は負担する考えであったと思われる。負担比率は、1年間平均20.1%であるが、負担比率の中心値は27%であり、負担比率は0%（払わない）から65%とバラついていて、それらの実態から、藩の負担基準が無く、それぞれの御役人の心づもりで負担していたと思われる。

この接遇の費用は、各御役人の負担金を控除した後、年に六兩一分銀十三匁四分二厘であり、全下用に占める割合は1.1%となっている。接遇の件数が多いが、費用としては問題になるほどの大きさではなかったと思われる。

#### 参考文献

金銀交換比率、銀錢交換比率について..

「財布でひも解く江戸あんない」いずみ朔庵著 株式会社誠文堂新光社 2016年6月20日発行

	25	御林方	2		銀二匁		七十六文
	26	鳴海方	2	銀六匁		銀五分	百八十六文
	27	御普請奉行	4			銀三匁八分五厘	
6	14	鳴海方	1	銀三匁		銀三分五厘	六十一文
	17	鳴海方	1	銀三匁		銀四分四厘	九十一文
	18	鳴海方	1			銀四分四厘	
	19	鳴海方	3			銀一匁七分四厘	
	27	寺社方	2		銀二匁	銀八分八厘	
7	26	御林方	1	銀二匁			七十文
8	1	鳴海方	10	金二分		銀三匁五分	一貫九十文
	3	鳴海方	1		銀一匁	銀三分五厘	三十文
	6	柳原御役所	2	銀二匁		銀一匁三分二厘	
	18	鳴海方	1	銀二匁		銀四分四厘	八十七文
	23	鳴海方	2	銀二匁		銀五分	六十文
	25	御林方	3	銀十二匁			三百六十文
	26	寺社方	2	銀四匁			百三十四文
9	1	地方吟味役	3		銀三匁	銀一匁三分四厘	百十八文
	1	寺社方	2	銀四匁		銀一匁三分二厘	
	3	鳴海方	1			銀四分四厘	
	15	鳴海方	2			銀八分八厘	
	22	鳴海方	1	銀三匁		銀二分五厘	九十一文
	22	鳴海方	8			銀四匁二分	
	25	鳴海方	10	金一分一匁銀五匁			八百八文
	29	鳴海方	2			銀八分八厘	
10	5		2			銀七分	
	8	鳴海方	1			銀三分五厘	
	9	鳴海方	1	銀二匁		銀四分四厘	六十一文
	10	御林方	1	銀二匁			六十一文
11	1		1			銀四匁四分	
	5	御林方	1	銀二匁			六十一文
	9	御林方	1	銀三匁			九十文
12	2	御普請方	1	金二分一匁銀三匁			一貫四百二十文
	6	御普請方	1	金一分一匁銀六匁		銀一匁三分二厘	九百四文

月	日	役所	人数	休泊代	昼食代	継立人足代	役人負担金
12	5	鳴海方	2		銀二匁	銀一匁一分六厘	五十八文
	7	鳴海方	2	金一分ト銀五匁		銀五分	四百二十六文
	9	御林方	3	銀九匁			
1	11		2		銀二匁	銀七分	六十四文
	13	鳴海方	2			銀八分八厘	
	21	鳴海方	2	銀十二匁		銀一匁七分六厘	二百六十八文
2	4	御林方	2	銀四匁			百四十四文
	5	御鷹方	2	銀四匁		銀八分八厘	百二十文
	16	鳴海方	1	銀四匁		銀五分八厘	八十八文
	23		2			銀八分八厘	
	26	御林方	3	銀九匁			二百六十五文
3	2		2	銀十四匁		銀八分八厘	
	4	寺社方	2		銀二匁	銀八分八厘	五十八文
	6	鳴海方	1	銀三匁		銀四分四厘	九十一文
	12	鳴海方	2		銀二匁	銀七分	六十二文
	17	御林方	2	銀六匁			百七十八文
	17	御林方	2	金二分ト銀二匁		銀五分	四百八十文
	18	鳴海方	2		銀二匁	銀七分	六十二文
	18	御林方	2	銀二匁			百四十五文
	22	鳴海方	2			銀五分	
	22	御林奉行	6		銀六匁	銀三匁八厘	百六十二文
	23	御林方	2	銀四匁			百十文
	29	御鷹方	4		銀四匁	銀一匁七分六厘	
	29	寺社方	2	金一分ト銀十三匁		銀八分八厘	八百八十二文
4	2	御鷹方	4		銀四匁		
	5	鳴海方	2	金一分ト銀三匁		銀八分八厘	
	5	地方御勘定所	3	銀六匁		銀七分五厘	二百五十七文
	9		4			銀二匁三分二厘	
	10	鳴海方	2	銀十二匁		銀七分	二百五十二文
	14	御林方	2	銀六匁			
	24	鳴海方	10		銀九匁	銀三匁一分五厘	三百六十三文
5	16	鳴海方	2			銀八分八厘	
	17	鳴海方	2	銀四匁		銀八分八厘	百六十六文

下用は、諸役人の要望に応じる接遇費（接遇費）、年貢に係わる経費（税金費）、村政の事務費（事務費）、村役人への給与等の人件費（人件費）、神社仏閣の修繕や祭礼に係わる費用（神仏祭礼費）、雨池を利用するための地代（地代）、普請に係わる費（普請費）、猪の害を防ぐための火縄銃の費用（防災費）に分類することができる。

その構成比は、接遇費1.1%、税金費5.2%、事務費17.1%、人件費35.3%、神仏祭礼費8.0%、地代3.7%、普請費28.6%、防災費1.0%の構成比となっている。

他の文書について具体的には記載しないが、3点ともほぼ同じ傾向を示している。ただ、文久二年については、皇女和宮の下向に伴う人足の派遣で800両ほど使っているの、その分は構成比が異なっている。

人件費、普請費、事務費が大勢を占めているが、人件費では、村役人（庄屋組頭、頭百番）以外に村役人を補佐する定使と言われる人々への給金、池・川・杵の監視をする人の給金、威鉄砲を使う人への給金などさまざまな人件費が必要であったことが分かる。

文献にはまったく表に出ない「定使」（「じょうつかい」と読む？）即ち、庄屋組頭を補佐し、文書作成、文書伝達、その他の補佐業務を勤める人がいたこと、威嚇鉄砲を所持し、御林方の業務中の警固を勤め、猪を葬る役の人が17人いたこと、雨池や水の監視係の担当者が23人いたことがわかる。庄屋組頭だけでは、そうした重要な仕事を全部こなせなかったのである。

普請費は、大きな工事は藩の費用で実施するため、藩からの費用支払いを一旦村で受けて、費用を仕訳けていると思われる。

事務費は、庄屋組頭は年に290回もの代官所や名古屋の奉行所への出張をしており、年に36両もの出張費を掛けていることがわかる。

神社仏閣の修繕費や祭礼費を村が負担していることも分かる。年貢や小物成は、その額を負担すればよいのではなく、年貢の運賃負担、年貢を納めるための人足費が必要であったことがわかる。

下用書上帳によって、かくして様々な村の経営の実態が分かる。

その3 最後に、諸役人接遇の内容を分析する。



村中安全(社寺代参)	神仏費	四兩	
諸奉加	神仏費	五兩二分	五匁三分
熱田三頭人江遣	神仏費		六匁
氏神五ヶ所村扣堂社造作入用	神仏費	十一兩一分	四匁八分
宗門江遣	神仏費	三分	三匁七分五厘
氏神五ヶ所神事祭礼之節御神酒御備米代	祭礼費	九兩三分	五分五厘
虫送り入用	祭礼費	十八兩二分	五匁七分
	神仏祭礼費	四十六兩一分	六分
雨池敷地弁米代	地代	二十一兩一分	六匁七分
	地代	二十一兩一分	六匁七分
粕釜川役	普請費	一兩一分	八匁七分七厘
杭木代	普請費	三十五兩	十一匁六分
板橋小杓油樽瓶杭木代共	普請費	十三兩一分	九匁五分
大工扶持作料金物代共	普請費	六兩	八匁八分
明儀代	普請費	十五兩二分	六匁
小竹代	普請費	五兩三分	八匁四分
小縄代	普請費	十一兩三分	七匁五分
村方家別仕托之外年中所々人足代	普請費	六十六兩	六匁
雨池棚入用	普請費	九兩二分	十四匁八分
	普請費	百六十三兩一分	12 匁六分
煙硝火縄代	防災費	五兩三分	五匁一分
	防災費	五兩三分	五匁一分
合 計		五百八十一兩二分	十一匁六分四厘

その2 次に、下用の構成の検討をする（表中の分類は、筆者の判断）。

下用(村政費)の構成		金額	
項 目	分類	金	銀
諸役人御休泊御入用人足代共	接遇費	六兩一分	十三匁四分二厘
		六兩一分	十三匁四分二厘
御役竹代	小物成	三分	三匁三分
細運上	小物成		三匁
御年貢米所々出し人足	年貢費	四兩一分	十一匁
御年貢運賃代	年貢費	二十四兩二分	一匁七分
	税金費	二十九兩三分	四匁
庄屋組頭諸願達	事務費	三十六兩二分	十匁
紙墨筆代	事務費	二十二兩三分	六匁五分
根出御札縄代	事務費	七兩三分	八匁九分二厘
提灯張替蠟燭代	事務費	十一兩一分	十一匁五分
諸上納物判銭代	事務費	一分	五匁
宗門帳箱代	事務費	一分	三匁五分九厘
年中村役人頭百姓諸勘定立会入用	事務費	十九兩	十匁三分
	事務費	九十八兩二分	十匁八分一厘
庄屋組頭定使二十五人分給米費	人件費	百三十二兩一分	一分一厘
威鉄砲給米代御林見廻給米代	人件費	二十六兩	
所々雨池見廻給水掛給米代共	人件費	二十九兩	
年中御觸状持届人足代	人件費	七兩三分	九匁五分三厘
船江三ヶ所浚人足代	人件費	八兩三分	
	人件費	二百三兩三分	九匁六分四厘

米五斗

源藏

米二斗

惣右衛門

米一斗五升

善六

米二斗五升

傳左衛門

米一斗

喜三郎

米一石二斗八升

兵七

〆十五石三斗七升

去巳年

金十三兩卜

銀八匁二分九厘 増

〆金五百八十兩二分

銀十二匁三分七厘

高三千四百九十一石七斗八升

但高百石二付

金十六兩二分 銀七匁八分六厘八七

右之通相違無御座候以上

右村庄屋 市郎左衛門

山口三郎 印

同 橋藏 印

同 儀兵衛 印

同 庄三郎

同 庄兵衛 印

組庄屋 三郎平

組頭

源藏 孫右衛門

同 清右衛門

鳴海

御陣屋

同 又四郎

同 惣兵衛 印

同 文四郎 印

同 孫次郎 印

同 傳兵衛 八兵衛

同 傳右衛門

同 治郎兵衛

同 治兵衛

同 伊左衛門

同 甚右衛門

同 善四郎 安右衛門

頭百姓

清兵衛

同 忠兵衛

同 太右衛門

同 松助

同 徳三郎

同 清三郎

米一石八斗	同 治兵衛
米二石五斗	同 伊左衛門
米一石二斗五升	同 甚右衛門
米五斗	同 善四郎 安右衛門
米三石四斗四升五合	定使
	源藏
米三石三斗五升	同 秀助 源七
米一石六斗	同 惣七
米一石六斗	同 松藏
米一石七斗八升	同 和兵衛
米五斗	同 市左衛門 善八
〆米七十石九升三合五夕	
一金二十六兩也	威鉄砲給米代
	御林見廻り給米代
右内訳	
米四斗	丈助
米三斗五升	惣助
米一斗五升	亦兵衛
米三斗五升	傳左衛門
米二石也	久助 八右衛門
米二石也	弥三右衛門
米二石也	半左衛門 惣左衛門
米二石也	六左衛門
米一石也	善兵衛
米一石也	五郎右衛門 七兵衛
米一石也	丈右衛門 作藏
米一石也	藤七

---

米一斗二升	六左衛門
米一斗二升	九八
米一斗二升	安右衛門
米一斗二升	四郎左衛門
米五升	兵七
〆十三石七斗八升	
一金二十九兩也	所々雨池見廻給
	水掛給米代共
右内訳	
米六斗	喜左衛門
米六斗七升	源次郎
米五升	同人
米八斗	林藏
米一石二斗	作藏
米一石二斗	清藏
米五斗	甚右衛門
米一石五斗五升	久左衛門
米三斗五升	仲右衛門
米一斗五升	太助
米一斗五升	和七
米五斗	治郎七
米八斗八升	孫平
米七斗五升	源七
米七斗五升	嘉右衛門
米七斗	孫平
米八斗	長七
米一斗二升	治右衛門

銀五匁	
一金一分卜	宗門帳箱代
銀三匁五分九厘	
一金十九兩卜	年中村役人頭百姓
銀十匁三分	諸勘定立合入用
	所々見分之節入用共
一金十一兩一分	氏神五ヶ所
銀四匁八分	村扣堂社 造作入用
一金九兩三分卜	氏神五ヶ所
銀五分五厘	神事祭礼之節 御神酒御備米代共
一金三十五兩卜	杭木代
銀十一匁六分	
一金十八兩二分	虫送り入用
銀五匁七分	
一金十三兩一分卜	板橋小杣油樽
銀九匁五分	瓶杣木代共
一金六兩二分	大工扶持作料
銀八匁八分	金物代とも
一金十五兩二分	明儀代
銀六匁	薄代共
一金五兩三分	小竹代
銀八匁四分	
一金十一兩三分	小縄代
銀七匁五分	
一金二十四兩二分卜	御年貢運賃米代
銀一匁七分	
一金六十六兩卜	村方家別仕托之外

銀六匁	年中所々人足代
一銀三匁	細運上
一金三分卜	宗門江遣
銀三匁七分五厘	
一金九兩二分	雨池棚入用
銀十四匁八分	
一金百三十三兩一分	庄屋組頭定使二十五人分給米代
銀一分二厘	
右内訳	
米七石三斗	庄屋
米八石五升三合五夕	山口三郎 市郎左衛門
米四石八斗	同 橋藏
米四石八斗	同 儀兵衛
米四石二斗	同 庄三郎
米二石五斗	同 庄兵衛
米二石三斗四升五合	組庄屋 三郎平
米二石三斗四升五合	組頭
米二石三斗四升五合	源藏 孫右衛門
米二石三斗四升五合	同 清右衛門
米二石六斗五升	同 又四郎
米二石六斗五升	同 惣兵衛 惣十
米二石六斗五升	同 文四郎 八兵衛
米一石八斗	同 孫次郎
米一石八斗	同 傳兵衛 八兵衛
米一石八斗	同 傳右衛門
米一石八斗	同 治郎兵衛

内

一貫四百二十文御払

十二月六日<sup>5</sup>十三日昼迄御休泊

御普請方

一金二分<sup>1</sup>銀六<sup>1</sup>匁

佐次弥三右衛門様

内

九百四文御払

同日

御同人様御繼立

一銀一<sup>1</sup>匁三分二厘

乙川村迄

人足三人

×金八兩<sup>1</sup>卜

銀六<sup>1</sup>匁三分九厘

錢十一貫百三文御払×

此金一兩二分<sup>1</sup> 銀七<sup>1</sup>匁九分七厘

引×金六兩一分<sup>1</sup> 銀十三<sup>1</sup>匁四分二厘

内

金五兩一分<sup>1</sup> 銀七<sup>1</sup>匁三厘 御休泊代

金一兩<sup>1</sup>卜 銀六<sup>1</sup>匁三分九厘 人足代

一金三十六兩二分

庄屋組頭諸願達

銀十<sup>1</sup>匁

御召出等二而名古屋

鳴海横須賀江罷出候年中入用

内

金二十五兩也

名古屋表江 百二十五度

金拾兩<sup>1</sup>卜

銀十二<sup>1</sup>匁

鳴海表江 百五十三度

金一兩一分<sup>1</sup>卜

銀十三<sup>1</sup>匁

横須賀表江 二十二度

一金四兩一分<sup>1</sup>卜

銀十一<sup>1</sup>匁

御年貢米

千三百五十石取扱

所々出し人足代

一金二十二兩三分

年中入用

銀六<sup>1</sup>匁五分

紙墨筆代

一金三分

御役竹代

銀三<sup>1</sup>匁三分

一金四兩也

村中為安全

秋葉山江代参

津嶋御立符

正五九月御日待

いせ御油料

煙硝火縄代

一金五兩三分<sup>1</sup>卜

銀五<sup>1</sup>匁一分

一金七兩三分

年中御觸狀

銀九<sup>1</sup>匁五分三厘

持届人足代

一金八兩三分

船江三ヶ所湊人足代

一金二十二兩一分

雨池敷地弁米代

銀六<sup>1</sup>匁七分

一金七兩三分

根出御札縄代

銀八<sup>1</sup>匁九分二厘

一金十一兩一分

提灯張替 蠟燭代

銀十一<sup>1</sup>匁五分

一金五兩二分

諸奉加

銀五<sup>1</sup>匁三分

庄組江遣又

一銀六<sup>1</sup>匁

熱田三頭人江遣

一金一分<sup>1</sup>卜

諸上納物判錢代

同二十五日御泊

一金一分下

銀五匁

内

八百八文御払

鳴海御代官

吉田助次郎様

御徒目付

山田十之丞様

鳴海方御手代

神谷市左衛門様

同 鈴木芳郎様

同 青山祐四郎様

同 加藤陣吾様

同 青山市五郎様

御小人押

松原八左衛門様

御仲間二人

御同人様御継立

半田村迄

人足十二人

同二十九日

一銀八分八厘

水谷龍八様(鳴海方)

伊藤又十郎様 御継立

岩滑村迄

人足二人

十月五日

一銀七分

山崎弥左衛門様

中村弥平次様 御継立

長尾村迄

人足二人

鳴海方

同八日

一銀三分五厘

吉川吉兵衛様 御継立

長尾村迄

同九日御泊

一銀二匁

内

六十一文御払

十月十日

一銀四分四厘

同日御泊

一銀二匁

内

六十一文御払

十一月朔日

一銀四匁四分

一銀四匁四分

同五日御泊

一銀二匁

内

六十一文御払

同九日御泊昼

一銀三匁

内

九十文御払

十二月二日5十三日昼迄御休泊

一金二分下銀三匁

人足一人

鳴海方

吉川吉兵衛様

御同人様御継立

乙川村迄

人足一人

御林方

中井清四郎様

伊藤儀六様 御継立

大足村迄

人足十人

御林方

神谷新蔵様

御林方

中井清四郎様

御普請方

伊藤清五郎様

一銀五分

半田村迄

人足二人

八月二十五日<sup>5</sup>二十六日昼迄御休泊御林方

一銀十二匁

中井清四郎様

内

神谷邑之助様

三百六十文御払

富田鋼太郎様

同二十六日御泊

一銀四匁

飯尾鉄蔵様 (寺社方)

内

蜷川源六様

百三十四文御払

九月朔日御昼支度

地方吟味役

一銀三匁

朝田小太郎様

内

小沢加八郎様

百十八文御払

御仲間一名

同日

御同人様御繼立

一銀一匁三分四厘

大足村迄

人足三人

同日御泊

寺社方

一銀四匁

山川松太郎様

前田半左衛門様

九月二日

御同人様御繼立

一銀一匁二分二厘

富貴村迄

人足二人

同三日

神谷市左衛門様御繼立 (鳴海方)

一銀四分四厘

乙川村迄

人足一人

同十五日

水谷龍八様 (鳴海方)

一銀五分

吉川吉兵衛様 繼立

半田村迄

人足二人

九月十八日

鳴海方

一銀八分八厘

岡村武三郎様

加藤陣吾様 御繼立

大足村迄

人足二人

同二十二日昼御泊

鳴海方

一銀三匁

水谷龍八様

内

九十一文御払

同日

御同人様御繼立

一銀二分五厘

半田村迄

人足一人

九月二十二日

鳴海御代官

一銀四匁二分

吉田助次郎様

山田十之丞様

神谷市左衛門様

鈴木芳郎様

青山祐四郎様

加藤陣吾様

青山市五郎様

松原八左衛門様

御繼立

長尾村迄

人足十二人



一銀四分四厘

同二十七日

一銀一匁七分四厘

大足村迄  
角田大蔵様

伊藤又十郎様

吉川吉兵衛様 御継立

亀崎村迄

人足三人

寺社方

木村忠右衛門様

蟠川源六様

御同人様御継立

一銀八分八厘

大足村迄

人足二人

御林方

神谷新蔵様

七十文御払

鳴海御代官

七月二十九日御泊八月朔日御昼

一金二分

内  
一貫目九十文御払

吉田助次郎様

腹戸良右衛門様

藤井友吉様

神谷市左衛門様

鈴木三郎助様

岡本慶右衛門様

加藤陣吾様

岡村武三郎様

御仲間二人

御同人様御継立

同日

一銀三匁五分

八月三日御昼支度

一銀一匁

内

三十文御払

一銀三分五厘

八月六日御泊

同日

一銀一匁三分二厘

同日

同日

同十八日御泊

一銀二匁

内

八十七文御払

一銀四分四厘

御同人様御継立

大足村迄

人足一人

鳴海方

同二十三日御昼支度

一銀二匁

内

六十文御払

同日

長尾村迄

人足十人

鳴海方

吉川吉兵衛様

御同人様御継立

長尾村迄

人足一人

柳原

松山三蔵様

高木逸作様

御同人様御継立

河和村迄

人足二人

鳴海方

岡本慶右衛門様

御同人様御継立

大足村迄

人足一人

鳴海方

吉川吉兵衛様

角田大蔵様

御同人様御継立

三百六十三文御払

森田七右衛門様

神谷市左衛門様

青山祐四郎様

鈴木三郎助様

水谷萬助様

御仲間二人

御同人様御繼立

長尾村迄

人足九人

伊藤又十郎様 (注鳴海方)

吉川吉兵衛様御繼立

大足村迄

人足二人

鳴海方

伊藤又十郎様

吉川吉兵衛様

内

百六十六文御払

一銀八分八厘

御同人様御繼立

乙川村迄

人足二人

御林方

神谷邑之助様

富田司馬太郎様

内

七十六文御払

同二十六日御昼泊

一銀六匁

鳴海方

水谷龍八様

角田大蔵様

内

百八十六文御払

五月二十七日

一銀五分

御同人様御繼立

半田村迄

人足二人

御普請奉行

一銀三匁八分五厘

水野藤兵衛様

源谷彦太郎様

佐次弥三右衛門様

岡部与次平様

御繼立

長尾村迄

人足十一人

鳴海方

角田大蔵様

六月十四日御昼泊

一銀三匁

内

六十一文御払

一銀三分五厘

御同人様御繼立

長尾村迄

人足一人

同十七日夕5十八日御昼迄御休泊

鳴海方

一銀三匁

吉川吉兵衛様

内

九十一文御払

六月十八日

一銀四分四厘

御同人様御繼立

大足村迄

人足一人

同日

伊藤又十郎様御繼立

同二十九日

一銀一匁七分六厘

中村弥助様  
幸嶋才次郎様  
御同人様御繼立

大足村迄  
人足四人

同二十九日 四月五日迄御休泊

寺社方

一金一分卜

銀十三匁

内

八百八十二文御払

一銀八分八厘

御同人様御繼立

岩滑村迄

人足二人

御鷹方

四月二日御昼支度

佐藤七郎様

幸嶋仁三郎様

中村弥助様

幸嶋才次郎様

同日

御同人様御繼立

乙川村迄

人足三人

鳴海方

四月五日 昼 八日朝迄御休泊

伊藤又十郎様

銀三匁

吉川吉兵衛様

一銀八分八厘

御同人様御繼立

乙川村迄

人足二人

同五日御泊

一銀六匁

内

二百五十七文御払

地方御勘定所

大宮八太郎様

小田木代八様

神谷左十郎様

同日

一銀七分五厘

御同人様御繼立

半田村迄

人足三人

同九日

一銀二匁三分二厘

森清兵衛様

森田伊兵衛様

高松定次郎様

片桐忠蔵様

御繼立

岩滑新田迄

人足四人

四月十日 五十二日迄御休泊

一銀十二匁

内

二百五十二文御払

鳴海方

水谷龍八様

角田大蔵様

同日

一銀七分

御同人様御繼立

長尾村迄

人足二人

同十四日 五十五日 昼迄御休泊

一銀六匁

御林方

富田司馬太郎様

神谷邑之助様

同二十四日御昼支度

一銀九匁

内

鳴海御代官

吉田助次郎様

吉田作郎吉様

一銀七分

人足二人

同十七日<sup>5</sup>十八日昼迄御休泊

御林方

一銀六匁

中井清四郎様  
神谷邑之助様

内

百七十八文御払

同十七日<sup>5</sup>二十日昼迄御休泊

御林方

一金二分卜

銀二匁

大沢謙三郎様  
長谷川啓次様

内

四百八十文御払

一銀五分

御同人様御繼立

半田村迄

人足二人

同十八日御昼支度

鳴海方

一銀二匁

伊藤又十郎様

内

吉川吉兵衛様

六十二文御払

同日

御同人様御繼立

一銀七分

長尾村迄

人足二人

同二十日<sup>5</sup>二十一日朝迄御休泊

柳原御代官

加藤安右衛門様

銀五匁

高木喜藏様

中嶋猶右衛門様

御仲間一人

同日

御同人様御繼立

一銀三匁五分二厘

布土村迄  
人足四人

同十八日<sup>5</sup>二十日朝迄御休泊

御林方

一銀六匁

中井清四郎様

内

百四十五文御払

同二十二日

鳴海方

一銀五分

伊藤又十郎様  
吉川吉兵衛様御繼立

半田村迄

人足二人

三月二十二日御昼支度

御林奉行

一銀六匁

水野権平様

内百六十二文御払

田中七十郎様

松本茂十郎様

御仲間二人

神谷邑之助様

同日

御同人様御繼立

一銀三匁八厘

大足村迄

人足七人

同二十三日御泊

御林方

一銀四匁

中井彦五郎様

富田六郎左衛門様

内  
百十文御払

御鷹方

同二十九日御昼支度  
一銀四匁

佐藤七郎様

幸嶋仁三郎様

二百六十八文御払

同日

御同人様御継立

一銀一匁七分六厘

常滑村迄

人足二人

二月四日御泊

御林方

一銀四匁

神谷新蔵様

内

濱嶋周平様

百四十四文御払

二月五日御泊

御鷹方

一銀四匁

岩塚茂平様

内

篠田宗六様

百二十二文御払

一銀八分八厘

御同人様御継立

乙川村迄

人足二人

同十六日昼五十七日昼迄御休泊

鳴海方

一銀四匁

鈴木甚平様

内

八十八文御払

同日

御同人様御継立

一銀五分八厘

亀崎村迄

人足一人

同二十三

永田太助様

一銀八分八厘

加藤弥右衛門様御継立

乙川村迄

人足二人

同二十六日夕より二十七日昼迄御休泊

御林方

一銀九匁

内

中井清四郎様

富田司馬太郎様

二百六十五文御払

神谷邑之助様

三月二日夕四日迄御休泊

三ツ橋作十郎様

一銀十四匁

高木逸作様

同日

御同人様御継立

一銀八分八厘

乙川村迄

人足二人

同四日御昼支度

寺社方

一銀貳匁

土方吉六様

内

山羽忠助様

五十八文御払

同日

御同人様御継立

一銀八分八厘

乙川村迄

人足二人

同六日昼五七日朝迄御休泊

鳴海方

一銀三匁

吉川吉兵衛様

内

九十一文御払

同日

御同人様御継立

一銀四分四厘

乙川村迄

人足一人

三月十二日御昼支度

鳴海方

一銀二匁

水野龍八様

内

角田大蔵様

六十二文御払

同日

御同人様御継立

表紙

安政六年

知多郡成岩村下用書上帳

未正月

本文

安政五戌午年

御年貢三役銀之外

村下用之覺

一金二兩一分卜

銀八匁七分七厘

一金六兩一分卜

銀十三匁四分貳厘

右内訳

巳十二月五日御昼支度

一銀二匁

内

五十八文御払

同日

一銀一匁二分六厘

同七日昼五九日昼迄御休泊

一金一分卜銀五匁

内

四百二十六文御払

同日

一銀五分

御同人様御繼立

半田村迄

人足二人

御林方

中井清四郎様

神谷新蔵様

富田司馬太郎様

午正月十一日御昼支度

一銀二匁

内

六十四文御支払

横山源太郎様

伊藤勝次様

同日

一銀七分

御同人様御繼立

長尾村迄

人足二人

同十三日

一銀八分八厘

鳴海方

丹羽又八郎様

速水銀二郎様

御繼立

乙川村迄

同二十一日五二十三日昼迄御休泊

一銀十二匁

鳴海方

鈴木甚平様

森田左太夫様

## 村の下用費の実態と諸役人接遇の実態

半田市立博物館専門員 柴田 邦彦

半田市立博物館には、江戸・明治期の古文書が1万5千点ほど保存されている。

その中で、成石文書と定義される一群の古文書は306点あるが、その中に、下用即ち村政費に関わる文書が4点ある。

- ・成石文書資料No.54 知多郡成石村下用書上帳 文久二年
- ・成石文書資料No.55 知多郡成石村下用書上帳 安政三年
- ・成石文書資料No.56 知多郡成石村下用書上帳 安政五年
- ・成石文書資料No.57 知多郡成石村下用書上帳 安政六年

これらを分析して、村の下用の実態と諸役人接遇の実態を検討した。

その1 まず、損傷が少ない資料No.57について、全文の翻刻を挙げる。

紀  
要

目  
次

「村の下用費の実態と諸役人接遇の実態」

.....

半田市立博物館専門員

柴田邦彦

.....

2



半田市立博物館 年報・紀要  
令和5年度

発行日	令和7年3月
編集発行	半田市立博物館 半田市桐ヶ丘 4-209-1
印刷	半田中央印刷株式会社

